■効果の見える治水事業

徳島県　中薮（２）　急傾斜地崩壊対策事業

徳島県西部総合県民局
県土整備部副部長　伊藤（いとう）　好美（よしみ）

○概要

当該箇所は，徳島県美馬郡つるぎ町半田に位置する，人家18戸および県道(半田貞光線)・災害時要援護者施設(半田病院)を保全対象に含む急傾斜地崩壊危険箇所です。

斜面崩壊が発生した際には人家や公共施設が著しい被害を被ることから，土砂災害から人命を守り，地域一帯の災害予防を行うため，平成19年度より急傾斜地崩壊対策事業による整備に着手しました。

これまで，全体計画503mのうち，493mが完成しており，現在，本年度内の完成を目指して残りの擁壁工事を進めているところです。

土砂災害危険箇所の多い県西部においては，最近の大型化する台風や頻発するゲリラ豪雨，さらには南海トラフ巨大地震の発生に備えた土砂災害対策は急務となっており，土砂災害から人命を守るために，災害時要援護者施設や避難路・避難場所のある危険箇所の整備に重点的に取り組んでいくこととしております。

○事業内容

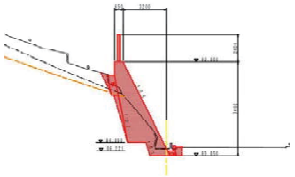
工種：擁壁工　L=503m
　　落石防護柵工　L=494m
　　水路工　L=584m

○事業期間

平成１９年度～平成２５年度（予定）

位置図

横断図



半田病院(災害時要援護者施設)

斜面状況

施工状況写真

「将来にわたって住み続けたい町」の実現に向けて

徳島県　つるぎ町長　兼西（かねにし）　茂（しげる）

○概要

本町は、平成１７年３月１日に旧３町村（半田町・貞光町・一宇村）が合併し、つるぎ町として誕生しました。徳島県の西部、吉野川のほぼ中流域南岸に位置しており、町全体では林野が全面積１９４．８平方キロメートルのおよそ８割を占めています。特に、町南部においては、町名の由来となっている四国第２の霊峰剣山をはじめ、標高１，５００㍍を超える山々が連なり、厳しい生活環境の一因となっています。温暖多雨で生活のしやすい気候ですが、昭和５０年と翌５１年の台風では災害救助法の適用を受けるような災害を経験しました。また、町村合併前の平成１６年と合併後の平成１７年には、相次ぐ台風の襲来による記録的な豪雨が、町に大きな爪痕を残しました。地形的な特徴から、町の歴史は災害との闘いの歴史であるといっても過言ではありません。幸いにも津波の心配はない地域ですが、台風による水害や土砂災害、地震に伴う山腹崩壊による集落の孤立化対策等が喫緊の課題となっています。

町では、“自助・共助・公助”の精神から自主防災組織の結成を町の重要施策の一つに掲げ、平成１９年から事業を推進しています。具体的には、町全体を２４の地域に分け、それぞれの地域が自主的な防災とまちづくり活動を推進できる体制を整えています。また、少年・少女消防クラブなど防災教育にも力を注いでいます。こういったソフト対策だけでなく、国・県のご支援をいただきながら、山間部への緊急ヘリポートの整備や、日常生活だけでなく被災時の復興への大動脈となる橋梁の長寿命化などの事業を展開しています。

今後も、災害対応機能を強化するとともに、町のキャッチフレーズである「将来にわたって住み続けたい町～生きがいのある暮らしと活力ある地域づくり～」の実践に努めてまいります。

△地域住民の避難誘導

△非常食等の啓発コーナー

△貞光川東地区放水訓練

△起震車による地震の揺れ体験

△救急救命訓練